

そなえあれば  
うれいなし

# 西淀 防災 Times

Vol. 8 令和3年12月13日発行

11月1日に実施した地震津波想定避難訓練のご協力ありがとうございました。実際に地震が起きた時に危ない場所や児童生徒の対応の仕方についてなど、訓練を実施して新たに気付いたこともあるかもしれません。

さて、第8号では今回の訓練におけるアンケートに記入していただいたことについていくつか取り上げます。

## ①雨の日に地震が起きたら…と考えると不安です。



雨の日に災害が起こった時の対応が不安だと思った方も多いと思います。本校周辺は南海トラフ地震が起きた場合の津波到達まで約1時間50分と言われているので、それまでに教員で二次避難先までの避難ルート of 安全確認を行い、怪我や障害物に注意しながら二次避難先に行くことになります。雨が降ると身体が冷えて低体温症になる可能性もあり危険です。また、これからは外気温も低下するので避難する際に防寒対策もしなければなりません。その解決策の1つとして、vol.2でご紹介した防災PT推奨の「ゴミ袋ポンチョ」があります。※作り方等はvol.2に記載していますので、そちらをご覧ください。



## ②防災頭巾やヘルメットなどの代わりになるものはないのか？

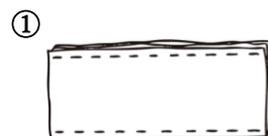
地震が起きたときは頭をまず守ることが大切ですよね。上から物が落ちてきたりガラスの飛散から、頭を守る道具は必要不可欠なものです。しかし、本校ではヘルメットや防災頭巾を保管していません。この件に関しては、防災PTでも話し合っ今後検討することになりました。また、防災頭巾は、身のまわりにある物で作ることができます。以下に作り方をご紹介しますので、よかったら作ってみてください。

### <準備物>

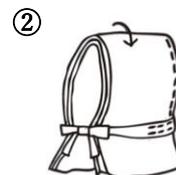
・フェイスタオル3枚 ・紐(1mから1.3m) ・縫い糸(木綿糸がおすすめ！)

### <作り方>

1. タオルを3枚重ね、長いほうの側面のみ手縫いで縫い合わせる。縫い目は大きめにする。



2. ①を半分に折り、下半分1/3を残し、重ねて縫い合わせる。



3. ②の下半分1/3あたりに紐を巻き付け、首にあたる部分を縫い付けて完成！

(参考) えひめ介護情報サイト 愛顔ケアねっと <https://egaocare.net/useful/life/215.html>

## ③2年間同じような想定だったので、次年度からは違う想定で実施するのはどうか？

アンケートの中には、今後の想定内容についてのご意見を多くいただきました。今年度は昨年度と同様、二次避難先へ避難するところまでを実施しました。意見の中には、1階から2階へ児童生徒を上げる、体育館に避難するなど、校内で取り組む内容も挙げられていました。二次避難先へ児童生徒と移動し、実際に震災が起きた時にどう対応すれば良いのか考える訓練を実施すると共に、今回のアンケートでいただいたご意見を参考にしながら、次年度の訓練を計画し、実際に地震が起きた時に先生方がすぐ対応できるよう努めます。